

令和7年度

帰 国 生 入 試

高等学校 入学試験問題

国 語

注 意

- 1 合図があるまで、問題用紙を開いてはいけません。
- 2 始めの合図があったら、解答用紙の決められた欄に、受験番号、氏名を記入してから始めなさい。
- 3 声を出して読んではいけません。
- 4 解答は解答用紙の決められた欄に筆記具ではっきりと書き入れなさい。
- 5 試験時間は50分です。
- 6 計時機能以外の時計の使用は認めません。
- 7 試験中、体の具合や気分が悪くなったときは、静かに手をあげなさい。
- 8 終わりの合図があったら、すぐに筆記具を置きなさい。

【一】 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

「共通点を探す」という観点で、A アナロジーを習得するのに役に立つのが日本古来の言葉遊びである「謎かけ」です。いくつか例題を見てみましょう。出典は「ととのいました！」で一時期 B 一世を風靡した※ねづっちの著作からです。

【演習問題】

- ① 「相撲」と掛けて「花見」と解く。その心は？
- ② 「無重力」と掛けて「満腹」と解く。その心は？
- ③ 「好み焼き」と掛けて「ダイエット」と解く。その心は？

（謎かけの出典…『なぞかけで「脳活」！』Wコロン著／東邦出版）

【解説】

解答は、

- ① 「せきとり（閑取・席取り）」が必要
- ② 「くうき（空気・食う気）」がない
- ③ 「へらない（へらない・減らない）」と困るです。

ここで謎かけを出してきた趣旨は、そのプロセスの A 類似性です。

Aと掛けてBと解くその心は……Cという構図は、「共通点を探す」というアナロジーの思考回路と同じです。

AとBが「一見なんのつながりもない」別世界のもの同士、そしてCがその共通点です。

こう見ていくと、謎かけの思考プロセスがアナロジーと同様であることがわかるでしょう。逆に二者のちがいはバクリと同様、共通点の抽象度です。

アナロジーによる発想には大きく二つのプロセスがあります。

「**C** 遠い世界」の具体的事実を抽象化したのちに現在の関心領域に当てはめるという、「具体↓抽象」「抽象↓具体」という二段階のもの（パターン①）と、すでに抽象化されている「キーワード」に関心領域に具体化するという、「抽象↓具体」の一段階のもの（パターン②）です。ここでのパターン①というのは、普段の観察から始まり、何気ない趣味の世界や日常生活など、仕事とは関係ない世界での観察事実を抽象化して特徴を抽出し、それを仕事における抽象度の高いニーズと合わせて仕事におけるアイデアを生み出す、といったことが具体的な応用のイメージになります。

実際には、「**D** 抽象化」と「**E** 具体化」は連続的に一セットで起きるわけではなく、日常生活の中で普段何気なく観察した対象を抽象化しておくというを行って、「引き出しに様々なパターン」をしまっておくというのと、それを自分の関心のある領域（例えば自分の仕事）に具体化して新しいアイデアにするというのはそれぞれ並行して行われているイメージです。これらがある瞬間で「つながる」のが、アナロジー思考における「ひらめきの瞬間」ということになります。

一つ例をあげましょう。二〇一五年に日本に上陸したNetflixというオンデマンドの映像配信サービスがあります。このサービスはまず（物理的な）DVDなどを「定額制」でレンタルするというビジネスからスタートしました。創業者のリード・ヘイスティングスは、かつて映画『アポロ13』を自らレンタルしたときに、返却を延滞して当時の新品以上に高い延滞料金を支払うはめになってしまいました。そんな「不満」を持つていたときに、「スポーツジム」の定額制からこのビジネスのヒントを得たという**逸話**が残っています。これなどが典型的な事例と言えます。

次の**F** パターン②というのは、すでに世の中のような様々な事象が抽象化、パターン化されているときに、そのパターンが実現されていない別の具体的な世界に適用するというような場面で用いられます。例えば、世の中のトレンドやビジネスモデルというのがこの「パターン」に相当します。

実際にはこれらが渾然**こんぜん**一体となつて起こるのがアナロジーによる発想のプロセスなのですが、本書では各々のプロセスのうちいくつかを基本動作として抜き出して演習することで、アナロジーの発想力を鍛えていきたいと思います。

続いて、あるお題が与えられたとした場合に、それから別のものを連想するトレーニングをしてみます。やみくもになんでもつなげられるのではなく、そこで「筋の良い」アイデアと「筋の悪い」アイデアが出てきます。ここでは、その「筋の良さ」がどうやって決まるのかを体験してもらいましょう。取り上げるのは「回転寿司」です。

「回転寿司」というのは非常に特徴的なレストランの※業態であり、アナロジー的にも「真似をする」様々な特徴を持っています。ここではそこからどのように他の世界への^ウデンカイが可能か、演習問題を通じてアナロジー思考のイメージをお伝えしたいと思います。

【演習問題】

回転寿司以外に、何かを回転させる「回転〇〇」のアイデアを考えるとともに、「なぜ〇〇なのか?」、そして「その成功要因は何か?」について考察してください。

・演習のポイント①…類似の食べものから始まって、どこまで「遠くに」(食べもの以外や動物、あるいは人間にも)この業態の特徴を飛ばして^エフクラませることができたか?

・演習のポイント②…回転の仕方も回転ずしスタイルから始まってどこまで抽象化して別の形態まで考えることができたか?

・演習のポイント③…成功要因について、どこまで抽象化しつつ「寿司ならではの」特徴まで抽出することができたか?

・演習のポイント④…同じく成功要因について、顧客(あるいはユーザー)側の視点のみならず提供者(お店)側の視点も出すことができたか?

【解説】

アイデアの抽出にあたっては、まずは類似の食品を考えるのが普通に考えやすいアプローチです。まずは関係ありそうだろうがなさそうだろうが、とにかく手当たり次第に組み合わせてみるというのもアナロジー発想をするときの一つのアプローチです。

牛丼、カレー、ポテトチップ、アイスクリーム、おにぎり、おでん、焼肉、カップラーメン、居酒屋のつまみ類……このように様々な「思考実験」をしてみると、やみくもに^Gなんでも回転寿司のように「回せばよい」というものでもないということがわかってきます。

それではどういう食べ物がこのスタイルになじむのか、それはなぜか？ という「成功要因を抽出する」ことが「ただの思いつき」とアナロジーとの違いです。その「成功要因の抽出」こそ、抽象化に他なりません。これが先にお話しした^H抽象化とアナロジーとの重要な結びつきです。

でははじめに、どのような特徴をもった食べ物が回転寿司型のスタイルになじむのか考えてみましょう。

回転寿司の特徴として、「少量ずつ小分けになっている」ことがあげられますから、これになじむ食べ物がよさそうです。一皿で満腹になってしまつては回転させる意味がありません。ただ選択することができれば、わざわざ機械で回転させるまでもないでしょう。

次になぜ小分けになっているとありがたいのかを考えてみます。「いろいろな味を試せる」というのがあるのでしょうか。それからもう一つは、（寿司ネタのように）「各々の種類に多様性がある」こともあげられます。

では多様性があると何がありがたいのか？ それは「人によつて好みが異なるから」です。ある人は白身系だけたくさん食べたい、ある人は※光物だけたくさん食べたい……そういった人たちが同時に食事できるのも大きなメリットです。寿司でもセットものではそのようなニーズを満たすことはできません。

もともと寿司屋のカウンターというのは、^Iそういうニーズに応えるものではありませんでしたが、さらに回転寿司のありがたいところはそれが極めて安価に経験できることです。つまり元の単価はそれなりに高いが、「機械化」によつて安く提供できることも重要な要素です。

さらに、カウンターで注文するスタイルにはなかった回転寿司ならではの「メリット」としては、「意外な出会いがある」こともあげられます。自分で注文するのであれば絶対に注文しなかった、いままで食べたこともないようなネタを、「おいしそうだから」と試してみても意外にはまってしまうという経験は、「自分で注文する」というスタイルでは味わうことはできません。

ここまでの「成功要因」は主に顧客側からの視点でしたが、逆にお店側からするとどういふ商品がこのスタイルになじむでしょうか。

もともと◆回転寿司のアイデアそのものが工場のラインからのアナロジーで生まれたと言われているぐらいですから、「生産設備」としての回転寿司も考えてみましょう。

先述の通り、回転寿司は安価で提供できるものでなければならぬので、ある程度は製造が標準化できるものである必要があります。さらに実は回転寿司ならではの特徴として、「受注生産」と「見込み生産」を絶妙のタイミングで組み合わせられることがあげられます。

需要が大きいと想定される時間帯（お昼前など）には大量に「見込み生産」で在庫としてのラインに大量に乗せておき、閑散時間帯には「受注生産」で対応させることができるというのは、「賞味期限が短い」（つまり在庫リスクが大きい）寿司には絶好のスタイルといえます。

このように回転寿司は「受益者側（顧客）」からも「提供者側（お店）」からも成功要因を巧妙に満たしており、それが回転寿司がここまで広く普及した要因と言えます。

ここまで回転寿司の特徴や成功要因を抽出して考えることを試してみました。

このような要素を「概ね（主に顧客側で）満たすもの」として、実際にタイでチェーン店になっているのが「回転しゃぶしゃぶ」です。先述の条件は概ね満たしながら、さらに一工夫がしてあります。

しゃぶしゃぶの特徴である「最後は自らが『調理』する」ことを実現させるために、個人のテーブル（カウンター）に小さな「鍋」が備え付けられているのです。このように、概ね必要な特徴が満たされている場合には、「アイデアを適用したい商品の方を工夫して、そのアイデアの強みが生かせるように変えてしまう」というのもアナロジー思考の重要なポイントです。

（細谷功『メタ思考トレーニング』より）

出題の都合上、本文を一部変更した。

※ ねづっち —— 「謎かけ」を得意とするお笑い芸人。「Wコロン」というコンビで活動していた。

※ 業態 —— 企業や店舗が提供する商品やサービスの種類などの営業形態のこと。

※ 光物 —— コハダやサバ、アジなど、背中が青色で、腹の皮が銀白色に光る魚の寿司ネタのこと。

設問において字数を指定された場合は、記号、句読点も一字とする。

問 一 二重傍線部ア～オのうち、漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直しなさい。

問 二 傍線部A「アナロジ」を習得するのに役に立つのが日本古来の言葉遊びである『謎かけ』です」とあるが、「謎かけ」が「アナロジ

」を習得するのに役に立つ」と言えるのはなぜか。その理由として最適なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア 複数のものに共通するルールを探すことで初めて、謎かけもアナロジも成立するから。

イ 「相撲」から「花見」を連想するように、別世界のものをイメージすることが求められるから。

ウ 共通点がなければひらめきが生まれにくいというのは、謎かけでもアナロジでも同じことだから。

エ 無関係に見える二つの事象の共通点を見出そうとする手順が、謎かけとアナロジで類似しているから。

問 三 傍線部B「一世を風靡した」の意味として最適なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア 大いに流行した イ 一躍有名になった ウ 多くの人に真似された エ 世界的に見ても画期的だった

問 四 傍線部C「遠い世界」とあるが、「関心領域」が仕事であるとき、具体的には何が「遠い世界」に当たるか。本文中から十四字で抜き出し、最初の五字を書きなさい。

問 五 傍線部D「抽象化」とE「具体化」は、Netflixの例ではどの部分が相当するか。次のア～オからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア 借りていた映画作品の返却期限を過ぎてしまった。 イ 新品の映像作品を買うよりも高い延滞料金を支払った。

ウ 定額で通い放題というスポーツジムの業態からヒントを得た。 エ DVDなどを定額制でレンタルする方式を採用した。

オ DVDレンタルからオンデマンドの映像配信サービスに業態変更した。

問 六 傍線部F「パターン②」の事例として最適なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア 競合している店舗が食べ放題のサービスを開始したことに対抗し、自分の店でも食べ放題コースを新たに設け、他店よりも安い価格設定にすることで差別化を図る。

イ グルメや音楽など、若者の間で韓国文化が流行しているため、コンビニエンスストアで韓国フェアと銘打って韓国グルメの商品を販売し、若者の購買意欲をかき立てる。

ウ 次のシーゾンの流行色がパステルカラーであることを一早く察知し、どのファッションブランドもパステルカラーを取り入れたアイテムを新商品として販売し、自社ブランドの売り上げを伸ばす。

エ ゲームアプリで一般的になっているログインボーナス（一日に一度ログインすると特典をもらえる仕組み）を、塾の自習室を利用するたびに文具をプレゼントするという形に応用し、自習室の利用者数を増やす。

問 七 傍線部 G 「なんでも回転寿司のように『回せばよい』というものでもない」とあるが、たとえば「牛丼」はなぜ寿司のようにそのま
ま回転させても成功しないと考えられるか。解答欄の形式に合うよう、本文中の言葉を使って四十文字以内で説明しなさい。

問 八 傍線部 H 「抽象化とアナロジーとの重要な結びつき」とあるが、なぜアナロジーにおいて抽象化が重要だと言えるのか。その理由と
して最適なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア まだ誰も発見していない成功要因を抽出することでこそ、革新的なアイデアを生み出し、新しいヒット商品を生み出すアナロジー
思考ができるから。

イ アナロジーはある具体的な物事から概念を抽象化し、他の領域に適用しようとする思考であるため、そのプロセスにおいて抽象化
は欠かせないから。

ウ 抽象化を伴わないアナロジーは単なる模倣に過ぎず、オリジナリティに欠けているため高い評価を得られないどころか、パクリだ
と非難されてしまうから。

エ 「ただの思いつき」にはない抽象化という手順を踏むことが、アナロジー思考には不可欠であり、手当たり次第に他の領域への応
用を考えてみても意味がないから。

問九 傍線部I「そういうニーズ」とはどのようなニーズか。四十字程度で説明しなさい。

問十 傍線部J『提供者側(お店)』からも成功要因を巧妙に満たしており」とあるが、具体的にはどのような点がそう言えるのか。その説明として最適なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア 賞味期限が短い分、新鮮なものを顧客に提供することができる点。

イ 一度にたくさんのお客様のニーズに応え、満足度を高めることができる点。

ウ 需要に合わせた生産を行うことで、食材を必要以上に廃棄せずに済む点。

エ 今まで食べたことのないネタに出会う機会を、顧客に楽しんでもらえる点。

問十一 本文からは次の一文が抜け落ちている。どの段落の後に入れるのが最適か、その段落の最後の七字を答えなさい。

さらにこの例からわかることは、「関心領域」に関する強いニーズ(多くの場合は不満)がアナロジー思考の強い引き金になることである。

問十二 点線部◆「回転寿司のアイデアそのものが工場のラインからのアナロジーで生まれた」とあるが、次の資料を参考に、回転寿司は、工場のラインの何からヒントを得て、どのような抽象化を行い、どのように具体化したアイデアなのか、説明しなさい。

《資料：フォード社の生産方式》

1900 年ごろ、工業化の進展に伴い、大量生産が可能な工場システムの確立が急務となりました。特にアメリカの自動車業界では、フォード社がその先駆けとして注目されていました。当時、フォード社は「T型フォード」の大量生産に取り組んでおり、いかに短時間で効率的に製品を作り出すかが大きな課題でした。従来の手作業による組立方式では、必要な時間や人件費が高くなり、需要に対応するには限界があったのです。

この課題に対し、フォード社は生産ラインの見直しを行い、工程の標準化と自動化を推進しました。その一環として、作業員が移動せずとも製品が自動的に運ばれるベルトコンベアの導入を決断しました。このシステムによって、各工程を効率的に結びつけ、組立時間の短縮と生産量の増加が可能となりました。

このベルトコンベア導入は、単なる機械化の一步にとどまらず、当時の産業構造を根本から変える革新であり、以後の多くの企業がこれを参考に自社の生産体制を見直すこととなりました。さらに、労働者の疲労を軽減し、品質を安定させることにもつながったため、工場の生産性が劇的に向上しました。こうした技術革新により、フォード社は自動車を安価に供給できるようになり、一般の人々が購入可能な時代を切り開きました。

このように、フォード社の取り組みは、工業化を進める企業にとっての模範となり、世界中の工場に新たな生産方式の導入を促したのです。

※T型フォード（右の写真）

1908 年 10 月 1 日に発表された車。
安価で丈夫な実用車として、
発売後たちまち人気を博した。



【二】次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

日に日に満開へと近づく桜の木を見ていたら、次々と母のことを思い出した。私が生まれたことを記念して、両親が庭に植えたのだ。その桜も、今では立派な枝葉を広げている。

いつの間にか、①私にとつての母は、この桜の木になっていた。お母さん、と呼びかけ学校での出来事などを報告するのは、ア額縁の中の母の写真よりむしろ、この黒々とした幹や、葉を茂らせ風にしなる枝の方が多かった。私は二十代半ばの若さで、すでに母の享年をこえ、これからはどうどん母が年下になっていく。

私がお嫁に行ったら、父はこの家で一人になる。大切な人を残していかなければいけない不安は、母が二十数年前に味わった苦しさ、ほんの少し重なるかもしれない。母がいなくなつて、私はずっと父と二人だけで暮らしてきた。

片親だというのは私がそれほどまでに淋^{さび}しさを感じず、思春期の頃も大きく道を踏み外すことなく、わりとまっすぐに成長できたのは、父のおかげだ。公務員だった父は、それなりに男としての欲望もあっただろうに、出世するのをあきらめ、毎日定時に帰ってきては、私のためにたくさん時間を費やしてくれた。母の日の授業参観でも堂々と胸を張って来てくれたし、運動会の際は盛大なお弁当を作って駆けつけてくれた。休みの日は、遊園地や温泉にも連れて行ってくれた。クリスマスには、ありとあらゆる手を使って、サンタクロースを演じてくれた。ある年など、本当に家の床にサンタクロースの足跡が残されていて、私は今でも、半分は本気で、サンタクロースの存在を信じている。表面上、とりわけ仲がいいということはなかったけれど、私は父を信頼し、父も私を信じていた。

だから、本気で好きな人ができてその人と結婚すると決まった時、なんだか急に自分が父を裏切るような、見捨てるような、そんなA後ろめたい気持ちになってしまったのだ。もちろん、当の本人には口が裂けても言えないし、父も父で、ようやく一人娘が片付いて再婚できるなどとうそぶいている。けれど、いまだに母が着ていた普段着のTシャツさえ処分できずにいる一途な父が、決してそんなことはできないのだと、娘の私は十分すぎるくらいわかっている。

「お母さん」

気が付いたら、②桜の木に向かつて本当に声を出して呼びかけていた。空を包む闇は、いよいよ濃くなっている。今夜は、私が子どもの頃

からよく行った、父行きつけの小料理屋でおでんを食べてきたのだった。本当は、嫁入り前に父と食べる最後の夕飯なのだから、父の好物などを張り切って作りたかった。おみそ汁の作り方だって、今のうちに父に伝えておかなくてはいけない。しかも今夜は父の知り合いまで一緒だったから、肝心なことは何一つ父に言えなかった。私の結婚が決まって以来、^B父は微妙に私と向き合うのを避けている。

私は、すっかり自分よりも大きくなった桜の木を見上げ、今度は心の中でそっと静かにつぶやいた。

私、お嫁に行くよ。明日、結婚するの。だから、この家、出なくちゃいけないの。お父さん、一人になっちゃうけど、大丈夫かなあ？ お

母さん、お父さんのこと、しっかり守ってあげてね。

桜の木が、^{うなず}頷くようにゆったりと風に揺れている。

「呼春^{こはる}」

ぼんやりと桜の木を見上げていたら、父が私を呼びに来た。

「風呂、沸いたぞー」

小料理屋で^{※あつかん}熱燗を二本も飲んだせいか、父はちよつとばかり上機嫌だ。

「お父さん、せっかくだから、嫁入り前の娘と、一緒に入ってみる？」

するつと、そんな言葉が出た。私も、少し酔っているのかもしれない。

「ばっきゃろお」

父の言葉に、

「冗談だよーん」

私も語尾を伸ばして言い返す。こんなふうに、深刻なことも丸ごと全部笑いに包んで、母のいなくなったこの家で、父と二人どんな修羅場もやり過ごしてきたのだ。

入浴後、台所に立って明日のおみそ汁の準備をする。

もう、専用の椅子なんかいない。煮干しの頭だつて、目をつぶったままでも上手に取れる。熱した鍋に水を入れるのだってへっちゃらだし、水の量は相変わらずお椀^{わん}三つ分と決まっている。

こーちゃんがお嫁に行くまで、毎日、お父さんにおみそ汁を作ってあげてね。

いつだったか、母の言った言葉がひゅうつとつむじ風みたいに甦よみがえった。初めて、母の手を一切かりずに自力でご飯とおみそ汁の支度ができた時、小さな指を不器用にからめて、母と約束をしたのだった。

お母さん。

私はまた、心の中で母を呼ぶ。

私、ちゃんと約束を守ったよ。毎朝、欠かさずにお父さんのおみそ汁、作ったよ。

翌朝、前の晩に仕込んでおいた煮干しから、うつすらとダシが滲にじみ出てほんのり魚の香りがイタダヨにっていた。父が起き出してくる時刻に合わせ、おみそ汁の準備を整える。味噌みそを入れたら絶対に煮立たせないこと。必ず※煮えばなをお椀によそうこと。母の教えは、私のこの体に刻まれている。

ボウルの中で卵をかき混ぜていると、洗面を終えた父が居間にやってきた。

「おはよう」

私と母、両方に言ったように聞こえるいつも通りの父の声に、

「おはよう」

私もまた、同じように返事をする。

「いい天気でよかったな」

素面しらふの父は、顔を隠すようにすぐに新聞を広げて読み始めた。これが、嫁入り前、最後に作るおみそ汁だ。ご飯は自分で炊いたりもするくせに、なぜかおみそ汁だけは、決して自分では作ろうとしない。

C 卵の中に水で溶いた片栗粉かたくりこを入れ、更によく混ぜ合わせた。これを、菜箸さいばしに伝わらせるようにして汁の中に落とす。すぐに卵は、ふわりと雲のように固まって表面に浮かぶ。一度火を止めてから、慌てて庭先に駆け出し、数枚の三つ葉をつんできた。さっと水洗いし、そのままおみそ汁の中へ放つ。父と私、そして母と三人分のお椀に分けてよそい、急いで食卓へと運ぶ。ご飯をよそうのは、父の役目だ。母の仏壇の前

に、真つ白な湯氣を立てるご飯とおみそ汁が並んでいる。いつも通りの、見慣れた朝の光景である。

「いただきます」

父と向かい合い、朝ご飯を食べ始めた。どこからか鳥がやって来て、桜の木の枝に止まっている。時々、私達の沈黙を緩和するように、美しい声でさえずった。父は、たまに新聞の見出しに目を落としながら、黙々と朝ご飯を食べている。

今、言わなければ。あと数時間したら、私は家を出なくてはならない。朝ご飯が済んだら、後片付けもある。家を出る前に、軽くウソウジも済ませておきたい。もう、今しか父と向き合うチャンスがない。

「お父さん」

左手にご飯茶碗^{ちやわん}、右手に箸を持ったまま、中途半端な格好で父を呼んだ。けれど、その先の言葉を、まだきちんと準備していなかった。その隙を突くように、

「呼春のおみそ汁はうまいなあ」

父がしみじみと声を出す。D 私はもうそれだけで、胸がいっぱいだった。

「最初に作ってくれたおみそ汁も、かきたま汁だったね。秋子が、喜んでいた」

「覚えてたの？」

そう、二十年ほど前、私が初めて最初から最後まで一人で作れたのが、かきたま汁だったのだ。

「そりゃ、忘れないさ。一人娘が、初めて作ったおみそ汁なんだから」

父が、そつと箸を元に戻す。

「でも、どうしておみそ汁だったのかしら」

私も、箸と茶碗をテーブルに置いた。このことは、長年の素朴な疑問だった。ただ、なんとなく、父と母のプライベートな領域に踏み入るようで、父に聞けなかったのだ。母は、とにかくおみそ汁にこだわった。他のものはさておき、おみそ汁だけは毎朝必ずお父さんに食べさせてと、指切りげんまんした後もたびたび念を押されていた。

「それは、あれだよ」

父は少し表情を緩め、E 顔をした。母の思い出を語る時、父はよくそういう表情をする。

「お父さんが、毎日みそ汁を作ってくれて、そう言って秋子にプロポーズしたからじゃないか」

言いながら父は、急に顔を赤らめた。母のことは何でも話してくれる父だが、それは初めて聞く内容だった。

「それでお母さん、なんて答えたの？」

父を問い詰めるように尋ねると、

「そりゃあ、はい、って言ったさ。毎日、おみそ汁作りますから、あなたのお嫁さんにしてください、って」

「えー、お母さんが、本当にそう言ったの？」

私が乗り出すようにして父に聞いただと、

「確かにそう言った」

父はその時の空気を全部思い出したような表情で、しんみりと答えた。

「そっか、だからお母さん、絶対に別の人には、お父さんのおみそ汁、作らせなくなかったんだね」

あの時の母の厳しさを、私は一人の女性として、F なんとなくかわいらしく思った。そんなふうに母を感じたのは、初めてだ。

「負けず嫌いな人だったから。本当はすごく、悔しかったと思う。私が死んだらさっさと再婚してほしいなんて口では言っていたけど、内心、絶対に嫌だったと思うよ。だから娘に」

そこまで喋ると、G 父は突然声を詰まらせた。いつの間にか、父も体の向きを変え、③ 庭の桜の木を見つめている。

「お父さん」

私は父の横顔にそっと呼びかけた。

「今まで、育ててくれて、どうもありがとう」

窓から朝日が差し込んで、それはそれは清らかな眺めだった。でも、私がずっと言いたかったのは、この言葉ではない。

H 「ごめんなさい」

今度は、はっきりと声にした。意味をはかりかねたのか、父が私の方を向いた。けれど私は④ 陽だまりの中の桜の木をじっと見たまま、

「本当に、ごめんね」

もう一度謝った。

「なんだ、お前もしかして、妊娠してんのか？ そんなの、もうお父さん、驚かないぞ。孫を抱くのは、早い方がいい。どんどん作って、繁殖しろ」

父なりに、精いっぱい場を盛り上げたつもりだろうが、そうじゃない。私は父のペースに飲み込まれないよう、そつと目を閉じて言葉を続けた。

「だって、お母さん、私を産まなかったら、もつとお父さんのそばに、長くいられたかもしれないじゃない」

最近、やけに気になって、母を襲った病魔に関する本を、たくさん読んでいる。その中に、癌患者^{がん}が妊娠し、出産するのは、自殺行為だと書いてある一冊があった。病魔と闘いながら、自分の命と引き換えにするようにして産み落とされたのが、この私なのだ。

「何言ってるんだ」

その柔らかい声に驚いてふと目を開けると、父がエオダやかに微笑んでいた。

「確かに、出産したことで、秋子は体力を落としたかもしれない。でも、呼春が生まれて再発するまでの数年間は、本当に僕達夫婦にとって、天国だったんだ。その時に、人生のすべての喜びを、思う存分、味わったんだ。それに、もしこーちゃんがいなかったら、お父さんは一人で淋しくて、耐えられなかったよ。だから、すべてはなるようになってるんだと思う」

I 久しぶりに父からこーちゃんと呼ばれ、耳の底がくすぐつたくなる。そして私は、おそろおそろ質問した。聞きたくて、ずっと聞けなかったことを。

「じゃあ、お父さんは、私が生まれてきたこと、恨んでない？」

「あつたり前だろう」

その瞬間、父は本当におかしそうに笑いだした。私の言葉が、冗談みたいに聞こえたらしい。私はいたって本気なのに。

「呼春の中に、秋子はちゃんと生きている。全く淋しくないって言ったら嘘^{うそ}になるけど。このおみそ汁の中にだって、秋子がいるんだ」

父はからっぽのお椀に目を落としながら、しんみりと言った。それから不意に体の向きを変え、そそくさと指先で目じりに触れた。私も慌

てて涙を拭った。その時、ふわりと大きな風が吹いて、弾けるように視界が淡いピンク色に染まった。⑤ 桜の花びらが舞い上がったのだ。

「お父さん、もう明日からは、自分でおみそ汁を作るんだよ、ちゃんと、お母さんの分も作ってあげてね」

伝えなくてはと思っていた最後のひとことを、父に伝えて立ち上がる。家を出る前に、やらなきゃいけないことがたくさんある。オ 感傷に浸っている場合ではない。

「ますます秋子に似てきたなあ」

読みかけの新聞を広げながら、父がぼつりとつぶやいた。

（小川糸「こーちゃんのおみそ汁」より）

※ 熱燗—— 温めた日本酒。

※ 煮えばな—— 火にかけ、ぐらつと煮え始めたところのこと。

設問において字数を指定された場合は、記号、句読点も一字とする。

問 一 二重傍線部ア～オのうち、漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直しなさい。

問 二 傍線部 A 「後ろめたい気持ちになってしまった」とあるが、それはなぜか。その理由として最適なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア 父は「私」にたくさん経験をさせてくれたのにも関わらず、父に恩返しの一つもせずに結婚して家を出ようとしていることに気づいて、自分の親不孝さに罪悪感を抱いたから。

イ 「私」は父を信頼し大切に思っていて、父もまた「私」のことを同じように思ってくれているのに、結婚して家を出て行って父に淋しい思いをさせることを心苦しく思ったから。

ウ 母が亡くなってから、父は一人娘である「私」に気を遣い、家族二人で暮らしていく覚悟を決めて再婚を考えないでいてくれたのに、「私」は結婚して父との生活を断ち切ってしまったことに負い目を感じたから。

エ 母が亡くなってから、出世を諦めてまで「私」に尽くしてくれた父のおかげで淋しい思いをせずに生きてこられたのに、相談なしに家を出ることを決めて父を見捨てていくことに申し訳なさを感じたから。

問 三 傍線部B「父は微妙に私と向き合うのを避けている」とあるが、父のこの態度が具体的に表れている部分を一文で抜き出し、最初の五字を答えなさい。

問 四 傍線部C「卵の中に水で溶いた片栗粉を入れ」で始まる形式段落は、本文にどのような効果をもたらしているか。最適なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア おみそ汁の調理工程を具体的に描くことで、おみそ汁にだけ焦点があてられ、それが家族を結びつける重要なものであることが分かることで、家族の強い絆^{きずな}をリアルに伝える効果がある。

イ おみそ汁の具体的な調理工程を描くことで、この後の場面で出てくる最初に作ったおみそ汁が「かきたま汁」であったことが分かり、それが父につくる最後のおみそ汁であることを強調する効果がある。

ウ おみそ汁の具体的な調理工程からは、母が教えた独特のおみそ汁の作り方を変えることなくきつちりとこなしている様子が分かり、母との約束を果たせた「私」の達成感をより鮮明に表現する効果がある。

エ おみそ汁の具体的な調理工程からは、おみそ汁作りが「私」の体に刻まれていることが分かり、「私」と父がこれまで長い時間を二人で共にしてきたことを印象付ける効果がある。

問 五 傍線部D「私はもうそれだけで、胸がいっぱいいっぱいだった」とあるが、このときの「私」の説明として適切でないものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 父と向き合うのは今しかないという思いが先走り、言葉が出てこない「私」の気持ちを汲んでくれた父の気遣いを感じ、改めて父の優しさに包まれ感極まっている。

イ 別れに際しての大げさな言葉ではなく、父が発した何気ない「呼春のおみそ汁はうまいなあ」という一言に愛情を感じ取り、満たされた気持ちになっている。

ウ 今までおみそ汁の味を褒めることなど滅多になかった父が、別れの日に際して「うまい」と言ってくれたことで、これまでの努力が無駄でなかったのだと実感している。

エ 父のつぶやくような言葉によって、父との二人でのこれまでの生活が想起され、この生活がいよいよ終わりを告げることを感じ、切なさを感じている。

問 六 空欄Eに当てはまる語として最適なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア 甘い イ 甘酸っぱい ウ しよっぱい エ ほろ苦い

問 七 傍線部F「なんとなくかわいらしく思った」とあるが、これは母のどのような点についてそう思ったのか。四十字程度で説明しなさい。

問 八 傍線部G「父は突然声を詰まらせた」とあるが、このときの父の説明として最適なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア 妻の死を娘に背負わせないようにするために、どのような言葉を選んだらよいか熟慮してから話そうとしている。

イ 妻の本当の気持ちは、娘に話すような内容ではなかったことに気づき、どうしたらよいか困惑している。

ウ 娘と話したことで、初めて妻が亡くなる前に思っていただろう本当の気持ちに気づかされ、衝撃を受けている。

エ 亡き妻の想いを改めて言葉にすると、妻の悔しさや妻を亡くした悲しさなどが込み上げて、話を続けられなくなっている。

問 九 傍線部H「ごめんなさい」とあるが、「私」はなぜこのような発言をしたのか。四十字以上六十字以内で説明しなさい。

問 十 傍線部I「久しぶりに父からこーちゃんと呼ばれ、耳の底がくすぐったくなる」とあるが、このときの父と「私」の説明として最適なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア 生きていたころの妻が使っていた「こーちゃん」という呼び方をする事で、家族三人でいた幸せな日々をかみしめる父に対し、「私」はその日々を懐かしく思いながらも、母のいない淋しさを感じている。

イ 妻に先立たれ「私」と二人で暮らした日々を思い返す中で「こーちゃん」と口にした父に対し、母の死の原因がやはり自分にあつたことを聞かされた「私」は、次に聞くべき質問にすでに意識が移っている。

ウ 一人前の大人として認識していることを示す「呼春」という呼び名ではなく、自分の娘であることが強く意識された「こーちゃん」という呼び方をした父に対し、「私」は照れくさくも懐かしい思いがしている。

エ 結婚が決まってから「私」と距離を置き、「呼春」と他人行儀な呼び方をしていた父が、以前のように「こーちゃん」と呼んでくれたことで、「私」は二人の間のわだかまりが解けたような感覚を覚えている。

問題は次のページに続きます。

問十一 本文における桜の木の描写について、生徒たちが話し合っている。発言の中に明らかに誤りを含むものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 生徒A ― 本文では「桜の木」という言葉が何度も登場しているね。点線部①「私にとつての母は、この桜の木になっていた」とあって、「私」の呼び掛けに応えるような表現もあるから、この桜の木はお母さんの生まれかわりであることを意味しているのかもしれないね。

イ 生徒B ― 確かに何回も登場しているね。僕は、「桜の木」は家族のつながりを象徴する存在として描かれているのだと思うな。点線部②、③、④のように、「私」や父が家族について思いを馳^はせて話している時に必ず「桜の木」が登場しているから。

ウ 生徒C ― 「桜の木」の登場の仕方には、「桜の木」の動きを表す時と、「私」と父が「桜の木」を見ていることを表す時の二つのパターンがあるよね。「桜の木」が動く表現では擬人法が用いられているから、母が応えてくれていると信じたい。「私」の気持ちが表れているのかも。

エ 生徒D ― 「桜の木」はこの話において欠かせない要素となっているね。点線部⑤「桜の花びらが舞い上がった」場面では、「私」の新しい門出を祝福しているように見えるし、花びらが散っていくことから父や「桜の木」との別れも表しているように見えるね。

受験番号				
アルファベット				
氏名				
得点				

【一】問一 ア

イ

ウ

エ

らませる

オ

ね

問二

問三

問四

問五 D

E

問六

問七

40

20

ため、回転の意味がないから。

問八

問九

40

20

問十

問十一

問十二

【二】問一 ア

イ

って

ウ

エ

やかに

オ

問二

問三

問四

問五

問六

問七

40

問八

問九

60

40

20

問十

問十一

受験番号				
アルファベット				
氏名				
得点				

【一】問一 ア るいじ イ いっわ ウ 展開 エ 膨 らませる オ おおむ ね

問二 エ 問三 ア 問四 何気ない趣 問五 D ウ E エ 問六 エ

な	牛
味	井
を	は
試	少
す	量
ほ	で
ど	は
の	な
多	い
様	た
性	め
は	一
な	つ
い	注
	文
	を
	し
	、
	か
	つ
	複
	数
	人
	で
	同
	時
	に
	食

40 ため、回転の意味がないから。

問八 イ

自	分
の	好
好	み
に	合
合	わ
わ	せ
せ	た
た	注
い	文
い	を
う	し
ニ	、
ー	か
ズ	つ
	複
	数
	人
	で
	同
	時
	に
	食

40

問十 ウ 問十一 例と言えます。

問十二 回転寿司は、工場のラインのベルトコンベアからヒントを得て、それを「モノをベルトに載せて運ぶ仕組み」と抽象化し、ベルトに寿司を載せて客のところまで運ぶというシステムに具体化したアイデアである。

【二】問一 ア がくぶち イ 漂 って ウ 掃除 エ 穏 やかに オ かんしょう

問二 イ 問三 素面の父は 問四 エ 問五 ウ 問六 イ

汁	プ
の	ロ
作	ポ
り	ズ
方	の
を	時
教	の
え	父
て	と
作	の
ら	約
せ	束
続	を
け	守
た	る
点	た
	め
	に
	、
	娘
	に
	お
	み
	そ

問八 エ

私	を	出
を	産	し
た	こ	と
こ	と	で
と	母	が
対	亡	く
し	な	り
て	、	父
	父	が
	恨	ん
	で	い
	る	の
	で	は
	な	い
	か	と
	思	奪

問十 ウ 問十一 ア

凡例 2点 3点 4点 5点 6点